

組織の特異を見いだす

下記の5つの問いは徹底して検討する、考え抜く。

I. 我が社のミッションは何か。

ミッションは、具体的であり、我が社の特異を表しているか。作りだしているモノではない。社会で機能している事柄である。その機能は、我が社が他社と比べて卓越しているところから始まっている。ミッションは、常に徹底して考えねばならない。

II. 我が社の事業は何か。

ミッションと事業とは異なる。ミッションを商品や行動に具現化させ、知識・技術を集中させ、市場、社会で機能している姿である。人材が活動するあるべき姿も含まれている。

III. 我が社に必要とする知識は何か。

モノを生産するための知識だけではない。これは当然必要とする。生産できる知識を持っていても社会で機能しなければならない。我が社が発展し、成長するために必要な知識は何かである。

IV. 我が社が卓越すべきことは何か。

他社にはないものを持っているはずである。集中している事柄があるはずである。そこに卓越している事柄がある。卓越の要素はおそらく一つではないだろう。要素が混合されて卓越する。

V. 我が社の理想形とは如何なる状態であるか。

組織形態は理想から作られるはずである。商品開発、構築も理想からスタートしている。理想形が社内外が支持しているはずである。その理想形を少なくともイメージしておく。

5つの問いの答えを導きだし、組織内の指針にする。

「組織の特異は何か」を徹底して検討し組み立てる。

解が出てこなければ、人材に求めるべき知識・技術が絞れない。特異を持つ故に、優秀な人材を集められる。

- ・組織が自立できる。
- ・優秀な人材が成果を上げられる。
- ・社会に機会が見いだせる。

- ・社会に成果を見いだせる。

弊社 (SeedWin) の核になる知識と技術



弊社の特異は、3つ知識と技術を混合し、商品とサービスを創り出す。